

ピースクラブ通信

No.32

発行 社会福祉法人 ピースクラブ
住所 〒556-10014 大阪市浪速区大国1丁目1-1
連絡先 TEL 06-6664712077
Eメール peaceclub@st.dion.ne.jp

アジールとしてのピースクラブ

板谷英夫

アジールというのは歴史的・社会的な概念で「自由領域」「避難所」などと呼ばれる場所のこと。日本でも中世には寺社や神社がときにアジールの役割を果たすところがあらわれ、統治権力が及ばない聖域という時代があった。しかしアジールは統治権力の側からみれば、自らの力が及ばない好ましくない場所であった。近代国家では隅々まで統治権が及ぶ

わけで、原則としてアジールは存在していないことになる。存在していない過去のアジールという呼び方をかえ「親密な共同体としてのピースクラブ」「家族的なピースクラブ」と呼び変えてもよいが、やはり僕としては「アジール」と読んでおきたい気持ちである。

現在のピースクラブがアジールであると決めつけるわけではないし、それぞれの見方があってよいわけで、ただピースクラブの構成員個々がどのように今後の目標を持っているのか、僕の場合はアジールをキーワードと考えている。なぜなら自己決定や自己責任を叫ぶ現代社会の中で弱者が生き延びるためには「生き残ることを集団的目標に掲げる相互扶助的な集団を作りそこに属する」と

が、生き残る方策のよさに思えるから。個を中心にした現代社会思想に背を向けて、自己決定・自己責任なんて関係ないよと、みんなが「迷惑をかけ、かけられる」相互扶助・相互支援の生き方もありと思う。「だれにも迷惑をかけていないし、人の生き方にも関与しない」ということは自立ではなくて孤立しているとしか考えられない。「自立」とは個人的な性格でなく、そのひとの判断や言動が適切であると経験的に確認され、周りの人

が繰り返し助言や支援や連帯をもとめられるような人が「自立した人間」と呼ばれ、「自立」は名乗りではなく呼称で、集団的な経験を通して事後的に獲得された外部評価のことです。

自己決定・自己責任イデオロギーは、高度資本主義経済イデオロギーであり、サービスを消費するという時間差なしの世界です。僕は障害者支援法や個別支援計画がこう



した経済イデオロギーを背景にしているために、膨大な数の構造的弱者を作り出していると考えられています。ピースクラブの立ち位置は、既成の枠からはみ出した場所（僕はアジアールと呼びますが）であり、事態に敏感であ

ってほしいと強く望んでいます。現代の空気を読んで流行に乗ることでない。流行は消費されるが、時代と向き合うことは、それ自体消費に抗うことです。そして、目的を果たすためには、集団の構成員が感覚を鋭敏

にし、想像力を働かせ、現実には迫るといふ欲を持つ必要があるのではないのでしょうか。そのような政治的直観を持ちたいと、ニューヨークのウォール街をデモする若者をテレビで見ながら思う今日この頃です。

も大好きなもずく酢が突き出しで出てきてツルツルりと一人前べりです。海苔とかもずく、鯖とか漬物なんかが好きで春樹、将来、酒飲み？？？とにかくみんな大満足でお店を後にしました。そうそう、裕君は飛行機に酔ってダウンしてました。春

渉に行こう!!」と森本さんの肩が押されて、「とことんエコにしよう!!」とかじさん。出来上がりが楽しみです。一泊目以外は自治体の提供しているエコハウスに体験宿泊。エコではあるらしいけど、バリアフリーは無視されていて、段差だらけ。新しいのに建てつけが悪く、網戸が抜けて春樹は縁側から地面に転落！大したことはなかつたですけどね。

宮古島!

エコハウス生活体験と大自然!!

八木 恵里香

3連休が明日から始まるからか、関西空港の国内線チケットカウンターの長蛇の列でした。今回は春樹も連れて行くことができ、彼にとつて初めての宮古島となります。機内では丁度お昼寝時で那覇までぐっすり（ホッ!）。関空発が

遅延していたため乗り継ぎも急ぎ足で、日が暮れるころ宮古島へ着きました。朝子さんが出迎えてくれました。ホテルへ直行し荷物をとりあえず置きました。春さんが先に周りのお店を下見してくれて漁港近くの穴場そ〜な

沖縄料理のお店に入ることに。刺身、ゴーヤチャップル、沖縄そば・・・全てがてんこ盛り! ドーン、ドーンとテーブルへ置かれ、圧倒されました。グルクンの巨大さにはビックリ! みんなで「沖縄サイズでうれしいなあ!!」と大喜び。春樹

さんとお客さんと会話はずみ、遅くのお帰りでした。さすが!! 翌朝、ホテルでニシメさんと住宅の打ち合わせがありました。ソーラーパネルやら、雨水を循環利用、水路をめぐらせ涼しさを演出など・・・素敵なエコハウスの完成図描かれていました。ソーラーパネルは高額なので、

「バナソニックにでも交

えました。シユノーケルで顔をつけるだけで別世界!!まさにあの映画の「ニモ」の世界!!オレンジと黒の縞模様のニモ、クマノミもたくさん泳いでいました。もちろん、シユノーケルをつけなくても上からでもきれいに見えるので春樹も浮き輪に乗りながらカラフルな魚たちを見たはずです。みっちゃんはシユノーケルをおでこに装着し、温泉にでも浸かっているように気持ちよさそうにじーっとしてました。あかねちゃんも慣れた様子でシユノーケリング。完全にマイワールド。

夜には知り合いの方や町長さん、宮古島住民となった晋作さんも交えて焼き肉パーティー!!初めての「おとおりの」拝見!!お酒が回されます。その夜、暑かったのか、春樹は珍しく夜泣きが止まらなく、抱っこしても庭へ連れて出てもとにかく泣き止まず、うるさくて迷惑だし、裕君と三人でドライブに出かけることに。車に揺られているうちに寝るだろうと思つて・・・少し走らせて民家から抜けるとピツクリ!!満天の星空!!南半球のオーストラリアを思い出す程の星の数。周りは一面サトウキビ畑。まあるい地球・・・と改めて思いました。もう大感激で眠気も吹っ飛び日を見開いてしまいました。春樹の顔を覗くと、同じく目をまん丸にして星空を見上げています。口もポカーン。

まん丸の目の中にキラキラと星が映っていました。おまけに流れ星まで登場!!帰りの車で春樹

「わっぱ」40周年におもろ

は夢の中。春樹の夜泣きのおかげでこんなに素敵なお思い出ができました。同行のみなさん、ワン

おおにしやうこ
大西洋子

わっぱの40周年のお祝に行つてきました。手づくりの暖かい集会でした。わっぱは、今や180人の大世帯。パン屋、ケーキ屋、弁当屋、リサイクルセンターエコステーション農業と展開し、生活支援センター職業開拓校(うどんづくり)生活援助、共同生活体(グループホーム)とどんどん拡大していつて、どうなるのかなあと思っています。筋が通っていて、若い世代もいっばいで活気にあふれていました。もともと「わっぱ」でパンづくりを教わって、それで今のキジムナー、ビースクの基盤をつくった私と森本秀治には感無量でした。

一つの間に少数派から多数派になったのかわからない。ひとつの大きな流れを障碍者!!「S」と共に生きていく共に働くということでは思想的な潮流になったのではな

らもそのあとに続いている。ただそれが、良心的なリーダーの下の、工夫工夫の上でのことであるので、今、社会的事業所(今生きにくい人たちをも含めて、共に働く場)促進法という制度で制度として、普遍的なものにして、私の中では、またまた補助金や入札優先とかでむらがる人たちも含めて整理出

来ていない。けれど、私達の今実践していること「S」だけでなく、社会

これからのスケジュール

- 11月23日(水・祝)
扇町(震災支援) 神戸反原発
体の学習会
- 11月26日(土)
寄席
- 12月3日(土)
カオリーニヨさんライブ
- 12月17日(土)
西成反原発集会
- 12月18日(日)
しんせん組パーティ10周年
- 12月30日(金)
忘年会

的に生きていく人も共に生きていく)が拡がるならばそれも、がんばらなければと思います。会で「コッペ」さん「たつかいむ」さんと堀さんと出会って志、同じくする人がいるのがうれしくてしょうがないです。
3月11日以降、人と人が

のつながり、いつ死んでもいい生き方をしなくてはと、心を全開に、皆でおいしいものを食べて、あちこちどんどん出かけています。いいもの、いい人、いいつながりの中で、ピースクラブも共に歩まん。



▲台風接近中、晴天の朝を迎える。



▲ガラスの下は鳴門のうずしお!

編集後記

皆様、お久しぶりです。やつと5ヶ月ぶりに通信を発行できました。と言っても前月号(8月発行)が発行できなかったのは、全て私の責任なのです。本当にすみませんでした。今までは、各号毎に編集するにあたり毎回違うパートナーと話し合っていました、その

方法がなかなかうまくいきませんでした。が、先日上村さんから専属のパートナーとしての立候補があり、今後は上村さんに協力を得て、編集活動にあたっていこうと思っています。どうぞこれからも通信作成に皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

(佐伯)